

暖かい日が続き、石巻にも桜の便りが届こうとしています。本日、PTA会長遠藤善博様をはじめとすご来賓の方々のご臨席を賜り、令和4年度入学式を挙げることを、我々一同喜びたいと思います。

ただいま入学を許可した百六十名の皆さん、君たちは晴れて石巻西高等学校への入学を認められました。そして、今日まで限りない愛情を注ぎ、お子様の成長を支えてこられた保護者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。なお、この式辞はホームページや学校便りにも掲載いたしますので、参加がかなわなかった保護者の皆様にその旨お伝えいただくと幸いです。

本校は一九八五年に全日制普通科の男女共学校として設立された、創立四十年を迎えようとする高校です。開校以来人権や多様性の尊重を基盤とした国際理解教育に積極的に取り組み、震災からの十年は防災教育にも力を注いでまいりました。令和元年度からは文部科学省の指定を受け、地域に出て社会人とともに学ぶ機会を通して地域を担う人材の育成にも取り組んでまいりました。

さて、現在我が国は少子高齢化や産業構造の変化、急激な気候変動といった課題を抱えています。世界に目を向けても、貧困や環境問題、そして連日報道されている国家間の紛争といった課題も見られます。みなさんは将来、これらの解決困難な課題に向き合わなければなりません。それに立ち向かえるだけの力を西高での3年間で身につけてほしいと思います。具体的に言えば、仲間と協力して課題に向き合い知恵を出し合いながら最も適切な解答を導き出す力、自信と誇りを持ちながら粘り強く挑戦し続ける力、そして、現在の自分自身を振り返り調整をはかりながら主体的に行動する力です。それらの力を武器に、地域や社会に貢献できる若者へと成長してほしいと考えています。とはいえ、みなさんの多くは失敗やつまずきを繰り返しながら少しずつ成長を遂げることでしょう。ですから我々は失敗を許容します。探究することを放棄し、失敗を恐れ他人から授けられた正解に従って行動するより、失敗から学ぶことの方が何倍も価値があるからです。

最後に本校の強みをお話しします。西高では3年間を過ごす学び舎の環境づくりとして、次の3点に心を砕いています。①失敗を認める安心安全の環境づくり、②個性や多様性を尊重する環境づくり、③本音で対話できる環境づくりです。そのためでしょうか、西高は中途退学者や不登校生徒がきわめて少ない学校です。生徒は学校を休みませんし、仲間作りを上手にやってくれています。西高は安心して通える学校です。これからも我々は西高を地域で一番魅力ある学校にするための努力を惜しみません。

保護者の皆様にはこれからも本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。お子様方がこれから過ごす3年間は、将来社会で生きていくためにきわめて大切な時期となります。一方で、心身ともに成長する中で、さまざまな悩みや不安を抱く時期でもあります。生徒たちにとって安全で安心な環境を作るために、学校と家庭とがそれぞれの役割を果たしながら、ともにお子様の成長を支援できますよう重ねてお願いを申し上げます。

新入生の皆さんにとって充実した高校生活が繰り広げられるであろうことを期待し、式辞といたします。